

ハーエンキルヒェン＝ジーガーツブルン
2018年11月22日

TRACE32: QA Systems 社の Cantata ユニットと統合テストツールを 統合

QA System 社の Cantata に TRACE32 デバッガのサポートが追加されました。この統合により、組み込みアプリケーションでコンパイル済みコードをデバッグするための検証、コードカバレッジ、トレーサビリティなどのテスト実行の完全な自動化が容易になります。

ローターバッハ社は、モジュール型マイクロプロセッサ開発ツールと組み込みデバッガの世界最大のメーカーです。Cantata の強力なユニットと統合テスト機能は、ほとんどのコンパイラ、および、TRACE32 デバッガでサポートされている組み込みアーキテクチャで使用できます。Cantata は組み込みシステムをテストするために、JTAG デバッガや命令セットシミュレータなど、TRACE32 がサポートしている何れの機能とも共に使用できます。

TRACE32 は Cantata の実行プロセスに完全に統合されており、ターゲットアプリケーションから完全なテスト結果カバレッジを提供します。Cantata の Eclipse UI を使用して計測アプリケーションのカバレッジレベルを設定し、ローターバッハ社の PRACTICE コマンドを使用してデバッガを設定することができます。Cantata を使用すると、組み込みターゲットおよびホストネイティブプラットフォーム上で標準に準拠したコードを簡単に検証できます。クロスコンパイラや IDE から要件管理や継続的な統合ツールに至るまで、広範囲に渡る組み込み開発ツールチェーンが統合されています。

Cantata のプロダクトマネージャを務める Pierre-Henri Stanek 氏は次のように述べています。「ローターバッハ社の TRACE32 デバッガとの統合を発表することができて、本当にうれしく思います。この統合により、Cantata の高度なテスト機能と組み合わせて使用できる強力なデバッグ手法をお客様に提供することができます」

TRACE32 と組み合わせて Cantata で作業する開発者は、Cantata Eclipse IDE から計測コードをビルドして実行できます。それは TRACE32 に自動的にアップロードされ、実行トレースがターゲットメモリから収集されます。ソースファイルのカバレッジ結果は、Cantata Coverage ビューアで表示され、トレース可能なロジック

ステートメントと該当する詳細をユーザに提供します。Cantata のトレースビューを使用して、テストを要件に簡単に関連付けることもできます。

この統合の実演、および、アプリケーションの適用範囲、Cantata のユニットテスト、TRACE32 用の Cantata の設定を説明している動画は、こちらからご覧になれます。

LAUTERBACH, TRACE32 μ Trace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.